

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 20 年 5 月 12 日	
		作成部署	建設交通部道路管理課	
事業名	一般府道 ^{みどのおみや} 味土野大宮線地方道路交付金事業	構想番号	(建・道) 構 20-5	
		地区名	京丹後市大宮町 ^{もりもと} 森本地内	
概算事業費	約 3 億円	事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	
事業概要	歩道整備 L=1, 210m W=6.0 (10.0)m			
関連する公共事業	鳥取豊岡宮津自動車道			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・鳥取豊岡宮津自動車道の開通に伴い交通量の増加が予想され、事業区間を通行する車一台当たりのCO ₂ の排出量の削減を図る。	・交通の円滑化によるCO ₂ 排出量の削減。	○
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・現道は幅員が狭く、車の離合困難による速度低下により、排気ガスの排出が増加する等、沿線の生活環境に悪影響を及ぼしている。	・道路の幅員拡幅により交通を円滑化し、周辺地域における排気ガスの排出量を削減する。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・現道周辺は、田園風景の広がる自然豊かな地域であるため、極力景観への影響を避ける必要がある。	・盛土部などの法面緑化等により、周辺環境との調和に配慮し、現状の自然景観を極力維持する。	○
地域の環境像	施工地周辺は、豊かな自然と美しい水田の景観に恵まれた地域である。本地域の自然環境や景観を維持するとともに、交通の円滑化によるCO ₂ 排出量の削減を行う。			
特記事項	なし。			

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)